



# 通学路の安全点検で子どもの命を守る



透明な仮囲い

【質問】文化審議会は、8月23日、1872年（明治5）に新橋と横浜を結ぶ日本初の鉄道が造られ、高輪ゲートウェイ駅前の開発で発見された「高輪築堤」の遺構の一部を史跡にするよう萩生田文科大臣に答申。近く史跡に指定される予定です。旧新橋停車場跡につなぎ形で高輪築堤跡を史跡に指定し、「旧新橋停車場及び高輪築堤跡」と名称も変更されます。

①JR東日本に対し、全面保存と公開を求めること。

②希望者全員が見学できるよう、見学会の開催を要請すること。

【答弁】①全面保存を求めるることは考えておりません。

【教育長答弁】①全面保存を要請することは予定しておりません。現時点で公開を求めるとは考えておりませんが、早期の常時公開が可能となるよう働きかけてまいります。

②一人でも多くの方が見学できるよう引き続き、JR東日本に働きかけてまいります。

## 通学路の安全点検で子どもの命を守る」と

【質問】今年6月28日、千葉県八街市で発生した下校中の小学生5人が死傷する事故を受けて、文部科学省は通学路における合同点検の実施について、依頼を出しました。通学路の安全対策をより強化することが求められています。港区でも昨年2月に虎ノ門の交差点で痛ましい事故を経験しました。この事故の後、都内の工事現場では先が見通せる透明なフェンスが使われることが増えています。警視庁も2019

年3月から道路使用許可の申請を出す工事業者に透明フェンスを使うよう要請しています。ありとあらゆる手を取り組むべきです。

①7月に実施した通学路の合同点検の結果を早急にまとめ、関係機関との協議を急ぎ、改善に努めること。

②通学時間帯に車両の進入を止めるエリアを拡大し、子どもの命を守る安全対策を講じること。

③学校選択制により通学に使われる道路の選択肢が増えています。学校指定の通学路に限定せず、通学に使う道路すべての安全点検に取り組むこと。

④危険箇所と判断された場所については、学校として人を配置し安全の確保に努めること。

【質問】文化審議会は、8月23日、1872年（明治5）に新橋と横浜を結ぶ日本初の鉄道が造られ、高輪ゲートウェイ駅前の開発で発見された「高輪築堤」の遺構の一部を史跡にするよう萩生田文科大臣に答申。近く史跡に指定される予定です。旧新橋停車場跡につなぎ形で高輪築堤跡を史跡に指定し、「旧新橋停車場及び高輪築堤跡」と名称も変更されます。

①JR東日本に対し、全面保存と公開を求めること。

②希望者全員が見学できるよう、見学会の開催を要請すること。

【答弁】①全面保存を求めることは考えておりません。

【教育長答弁】①全面保存を要請することは予定しておりません。現時点で公開を求めるとは考えておりませんが、早期の常時公開が可能となるよう働きかけてまいります。

②一人でも多くの方が見学できるよう引き続き、JR東日本に働きかけてまいります。

## 少人数学級の発展について

【質問】公立小学校の学級編成を35人に引き下げる法案が成立し、今年4月1日から施行され、港区でも公立小学校の2年生までが35人学級となりました。萩生田文科大臣は「中学校の35人学級にも積極的に取り組み、小中学校の30人学級の実現につなげたい」という考え方を示しました。閣議決定の中では、小学校の35人学級の推進が取り上げられています。

【教育長答弁】①中学校についても港区として35人学級を検討し、実施すること。

②区内小学校の35人学級について5年かけて段階的に実施するのではなく、より早急に実現すること。

【質問】校長会とも調整し、感染症対策に万全に期して学校連携観戦の実施を予定しており、感染状況の悪化や子どもの感染者数増の傾向が見られたことから、子どもたちの安全を最優先に考え、やむを得ず中止を決定したことがあります。短期間で判断が変わり、児童・生徒や保護者の皆様には混乱を生じさせることになりました。中止に至った経緯については、当事者である児童・生徒及び保護者に配信メールで丁寧に説明し、お詫びいたしました。また、区民の皆様には、観戦の中止についてプレスリリースし、その内容を区ホームページに掲載いたしました。

直前の中止となり関係者や子どもたちの混乱を招いたことについては、申し訳なく思っている。

【教育長答弁】①東京都の基準により、中学校1年生は35人学級で編制しております。区が独自に中学校2、3年生で、35人学級を編制することは予定しておりません。

②国が示す令和7年度までの経過措置に併せて、令和4年度は小学校1、2年生に加え3年生まで35人学級を広げる予定であり、前倒ししての実施は予定しておりません。



9月27日、要望書を小柳津副区長に提出

「2022年度当初予算に対する重点要望書」を提出しました。

【質問】校長会とも調整し、感染症対策に万全に期して学校連携観戦の実施を予定しており、感染状況の悪化や子どもの感染者数増の傾向が見られたことから、子どもたちの安全を最優先に考え、やむを得ず中止を決定したことがあります。短期間で判断が変わり、児童・生徒や保護者の皆様には混乱を生じさせることになりました。中止に至った経緯については、当事者である児童・生徒及び保護者に配信メールで丁寧に説明し、お詫びいたしました。また、区民の皆様には、観戦の中止についてプレスリリースし、その内容を区ホームページに掲載いたしました。

直前の中止となり関係者や子どもたちの混乱を招いたことについては、申し訳なく思っている。

【教育長答弁】①東京都の基準により、中学校1年生は35人学級で編制しております。区が独自に中学校2、3年生で、35人学級を編制することは予定しておりません。

②国が示す令和7年度までの経過措置に併せて、令和4年度は小学校1、2年生に加え3年生まで35人学級を広げる予定であり、前倒ししての実施は予定しておりません。